

株主の皆様へ

ORIGIN REPORT

第123期 報告書 2023.4.1 ▶▶ 2024.3.31

 **株式会社 オリジン**

証券コード：6513

独自技術を進化させ、新たな技術開発を通じてお客様の価値を創造し、豊かな社会に貢献します

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
 当社第123期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)のご報告をお届けするにあたり、概況を申し上げます。
 当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境やインバウンド需要の改善する下で、緩やかな景気回復の動きが見られました。しかしながら、資源・エネルギー価格の高止まりや為替相場の円安進行による物価上昇の継続に加え、世界的な金融引き締め継続や中国経済の減速による国内景気への影響が懸念されるなど、中東地域の地政学リスクの拡大も相まって先行き不透明な状況が続きました。
 このような中、当連結会計年度の売上高は、メカトロニクス事業の業績不振により282億5百万円(前期比12.0%減)となりました。

利益面におきましては、営業損失5億8千3百万円(前期は営業利益5億7千4百万円)、為替差益2億3千1百万円等を計上した結果、経常利益4千2百万円(前期比97.1%減)となりました。特別損失に間々田工場の地下水汚染対策工事費用として、環境対策引当金繰入額7億9千3百万円等を計上し、これに税金費用を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は14億6千8百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純利益は3億6千5百万円)となりました。

急激に変化する事業環境の中において、現事業の足許を固めつつも、新市場開拓や新規事業創出等による事業構造の転換に向けた取り組みが不可欠と認識します。

中期経営計画『変革』と『成長』の着実な実行を通して資本収益性や市場評価の改善を図り、中長期的な企業価値向上を目指します。

株主の皆様におかれましては、何卒より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月



代表取締役社長CEO 稲葉 英樹

経営理念

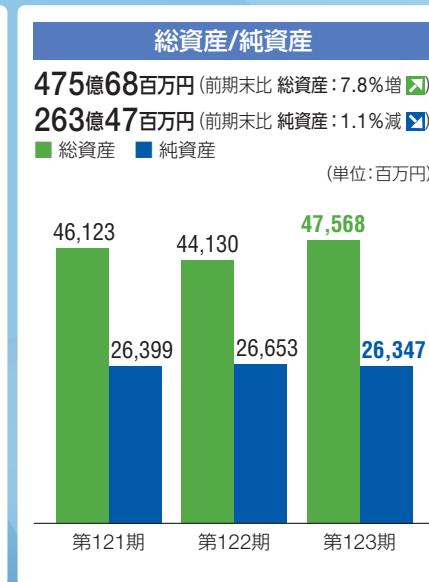
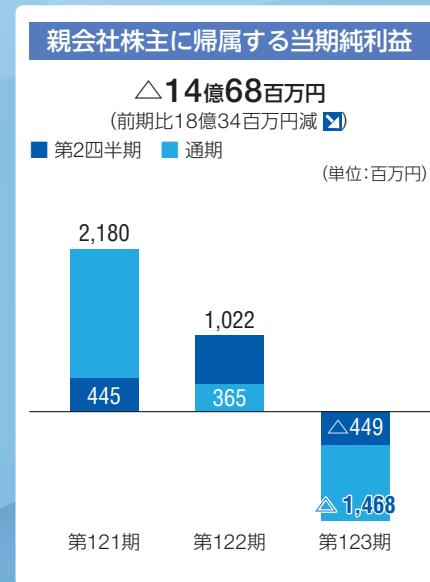
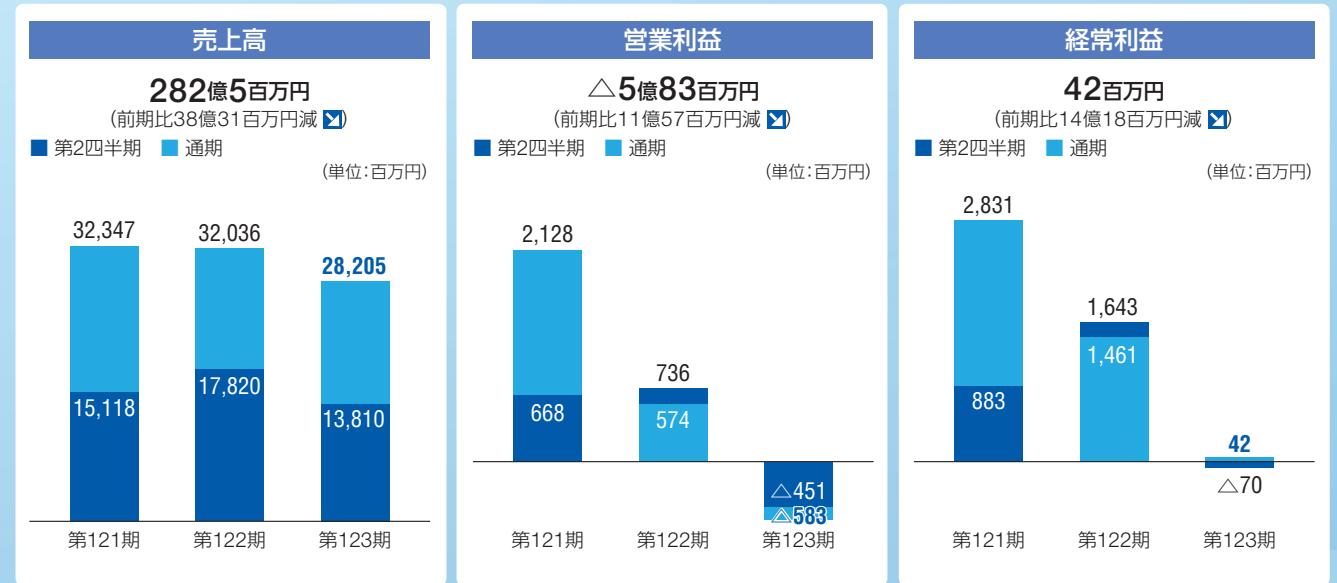
人類社会に役立つ
存在感あふれる企業を目指し

世界中から情報が集まり人が集まる
「開かれた企業」となろう

オンリーワン技術を磨く
「独自性ある企業」となろう

チャンスを与え失敗を乗り越え、
任せることの出来る
「自己実現の場である企業」となろう

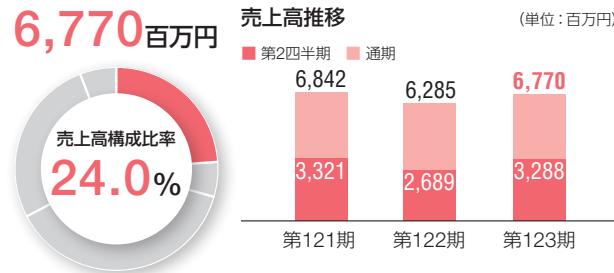
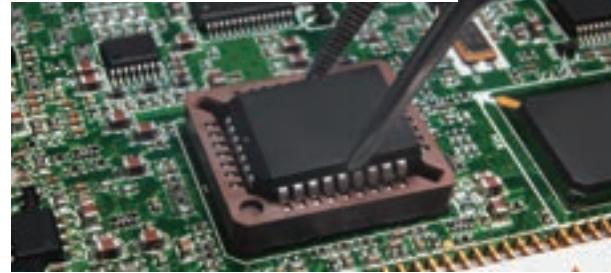
新たな価値を創造し、
社会に貢献する企業となろう



第124期 通期業績予想	
売上高	30,000百万円
営業利益	350百万円
経常利益	700百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	200百万円
1株当たり当期純利益	35円66銭

2024年5月24日に「2024年3月期連結決算説明資料」を開示いたしました。
 詳細はこちら↓
<https://www.origin.co.jp/ir/library/document/>

エレクトロニクス事業



エレクトロニクス事業の売上高は前期比7.7%増の67億7千万円(総売上高の24.0%)となりました。

医療用電源は顧客在庫調整の影響などもあり若干減少しましたが、半導体製造装置用電源は先行受注分の売上寄与等により大幅に増加したことから、全体として売上増となりました。

主要製品

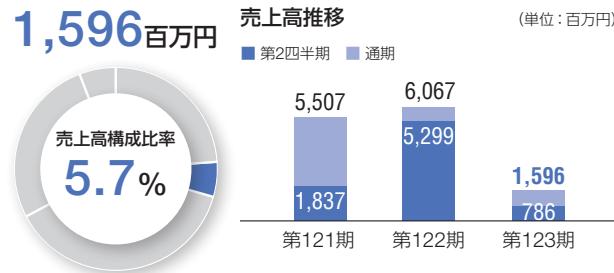
電源機器

- 医療用X線電源
- 半導体製造装置用電源
- UV/光源用電源
- EV連携/スマエネ用電源
- 電気集塵機用電源
- 通信用電源
- バックアップ電源システム
- インバータ
- 多出力電源
- 各種カスタム電源

詳細はこちらから
<https://www.origin.co.jp/product/technology/electronics/>



メカトロニクス事業



メカトロニクス事業の売上高は前期比73.7%減の15億9千6百万円(総売上高の5.7%)となりました。

ギ酸還元真空リフロー炉(VSM)の新製品としてMPXシリーズを投入しましたが、想定した売上に至りませんでした。また、光学レンズ貼合装置(OLB)も需要の減少により大幅な売上減となりました。

主要製品

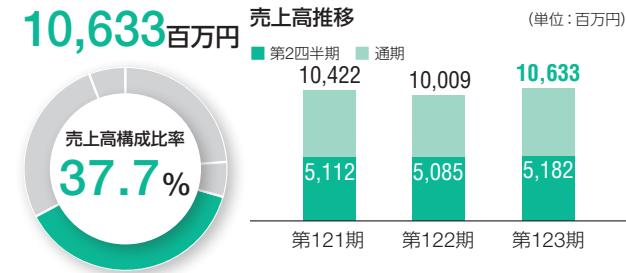
システム機器

- モバイルディスプレイ貼合装置(MDB)
- 車載・産業用ディスプレイ貼合装置(DB)
- 光学レンズ貼合装置(OLB)
- 大型溶接機(RMW)
- 光半導体用溶接機(CSW)
- ギ酸還元真空リフロー炉(VSM)および各種システム機器

詳細はこちらから
<https://www.origin.co.jp/product/technology/mechatronics/>



ケミトロニクス事業



ケミトロニクス事業の売上高は前期比6.2%増の106億3千3百万円(総売上高の37.7%)となりました。

主力のモビリティ関係は中国を始めとする海外市場では売上が伸び悩んだものの、国内市場での堅調な売上がそれを補完したことにより売上増となりました。

主要製品

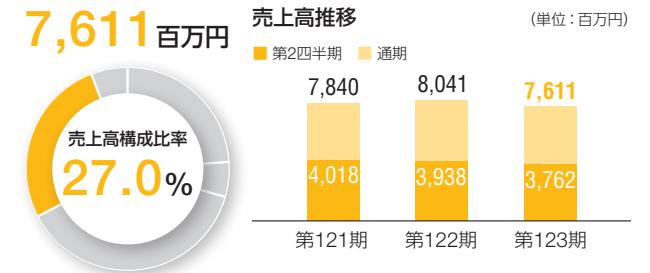
合成樹脂塗料

- プラスチック用塗料
- めっき・金属用塗料
- 機能性塗料(熱対策、無反射、防錆他)
- カーボンニュートラル(非石油由来、ハイサイクル)

詳細はこちらから
<https://www.origin.co.jp/product/technology/chemitronics/>



コンポーネント事業



コンポーネント事業の売上高は前期比5.3%減の76億1千1百万円(総売上高の27.0%)となりました。

金融機器関係は新紙幣特需により好調に推移、モビリティ関係も採用拡大に伴い大きく伸ばしました。一方、主要の事務機器関係は需要が戻らず低調な状況が継続、産業機器関係も半導体製造装置市場の低迷が大きく影響し売上減となりました。

主要製品

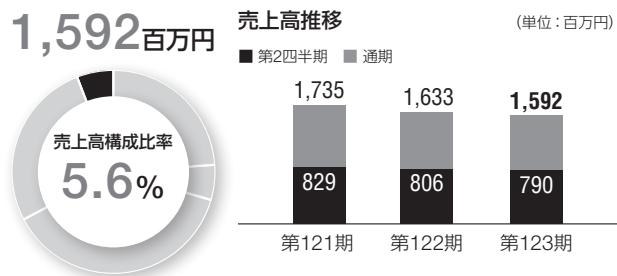
精密機構部品

- ミニチュアベアリング
- ワンウェイクラッチ
- トルクリミッタ
- トルクヒンジ
- 逆入力遮断クラッチ
- ゴムローラおよび各種複合化製品

詳細はこちらから
https://www.origin.co.jp/product/technology/precision_machinery_parts/



その他 (半導体デバイス事業)



その他 (半導体デバイス事業) の売上高は前期比2.5%減の15億9千2百万円 (総売上高の5.6%) となりました。半導体製造装置市場の低迷が影響し売上減となりました。

主要製品

パワー半導体

- 高耐圧ダイオード
- 高速ダイオード
- 整流ダイオード
- サージ防護素子
- ショットキーバリアダイオード等の半導体およびその複合モジュール

詳細はこちらから
https://www.origin.co.jp/product/technology/semiconductor_device/



カーボンニュートラル貢献塗料
【エコネットNS-2EC】



3拍子揃った
オリジンのサステナビリティ
ピアノブラック塗料

- ① エネルギー使用量削減
- ② CO₂抑制
- ③ 不良率削減効果



(実用一例:自動車内装)

電動開閉部の
安全と安定化に
トルクリミッタ

車載向けトルクリミッタ (プレーキ、クラッチ機能) は自動車の電動アクチュエータ用に開発された製品です。



新製品

【可搬型EV充放電器 POCHA V2V】

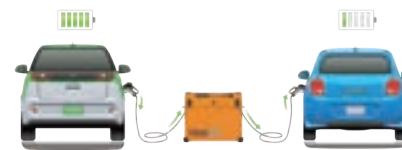
※ POrtable CHArger Vehicle to Vehicle

▶ EV電欠対応への新しい提案
—いつでも、どこでも、簡単に—

- ・ 駆け付けたサポートカー (BEV・PHEVなど) から直接電力を供給!
- ・ EV電欠時にレッカー移動が不要
※サポートカー (BEV・PHEVなど) が用意できない場合は、リチウムイオンバッテリーから電欠の車を救済することが可能に
- ・ 可搬型の機動性を最大限に活用し、とこでもボタン1つで自動充電開始



POCHA V2V



<EV/PHEV ⇄ EV>

POCHA LiB + POCHA V2V



<ガソリン車 (リチウムイオンバッテリー) ⇒ EV>
※POCHA LiBは開発中



詳細はこちらから
<https://www.origin.co.jp/product/pocha-v2v.html>



ステークホルダーエンゲージメント

地域社会とともに

さいたま市が独創性・革新性に優れた技術を有する研究開発型ものづくり企業として認証する「さいたま市リーディングエッジ企業」に継続認証されました。
 当社は2016年からさいたま市リーディングエッジ企業として認証されており、今回審査を受け2027年3月31日まで認証期間が更新されました。



従業員とともに

2023年4月1日より健康経営推進委員会を設置し、積極的に健康経営に取り組み、2024年3月11日に経済産業省と日本健康会議が共同で推進する『健康経営優良法人2024 (大規模部門)』に認定されました。引き続き、健康経営を推進します。



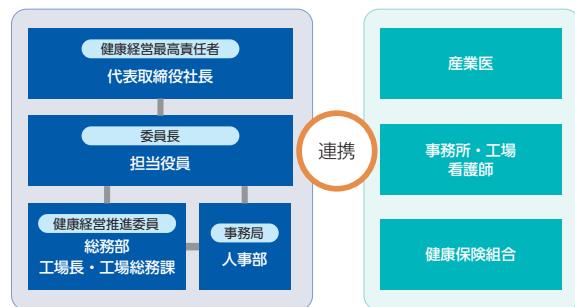
健康経営宣言

当社は、経営理念である「人類社会に役立つ存在感あふれる、開かれた、独自性ある、自己実現の場である企業」を実現するため、従業員の健康が企業活動の重要な基盤であると考え、従業員の健康保持・増進に取り組むことを宣言します。

従業員一人ひとりが能力を最大限に発揮できるよう、活き活きと働ける職場環境の整備と、ご家族を含めた心と体の健康づくりに積極的に取り組みます。

株式会社オリジン
 代表取締役社長 稲葉 英樹

健康経営推進体制



株主・投資家の皆様とともに

2024年5月13日に「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」を開示いたしました。

↓詳細はこちら
<https://www.origin.co.jp/ir/library/>



世界中へ広がるネットワーク

- ………… 事業所(含, 事務所)
- ………… 子会社



会社概要

(2024年3月31日現在)

会社設立年月日 1938年(昭和13年)5月1日
 代表者 代表取締役社長 稲葉 英樹
 資本金 6,103,252,996円
 従業員数 622名

主要な事業所

本社事業所	〒338-0823 埼玉県さいたま市桜区栄和3-3-27
間々田工場	〒329-0211 栃木県小山市暁3-10-5
瑞穂工場	〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-3-11
吉見工場	〒355-0156 埼玉県比企郡吉見町大字長谷字八幡1915
朝霞開発センター	〒351-0012 埼玉県朝霞市栄町3-3-25
熊本デザインルーム	〒869-0533 熊本県宇城市松橋町両仲間58
大阪支店	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-11-4-800 大阪駅前第4ビル812号
名古屋支店	〒451-0045 愛知県名古屋市中区名駅1-1-17 名駅ダイヤメイテツビル 14階

取締役および執行役員

(2024年6月27日現在)

代表取締役会長	妹尾 一 宏	上席執行役員	駒 形 秀 樹
代表取締役社長	稲 葉 英 樹	上席執行役員	福 田 健 夫
取締役上席執行役員	佐 藤 好 生	上席執行役員	宮 田 寛 司
取締役上席執行役員	内 藤 佳 彦	上席執行役員	栗 原 貴 志
取締役(社外)	小 池 達 子	執行役員	飯 塚 和 良
取締役常勤監査等委員	宮 内 公 平	執行役員	増 田 康 夫
取締役監査等委員(社外)	千代延 郁 男	執行役員	鶴 島 幸 治
取締役監査等委員(社外)	平 澤 久	執行役員	岩 崎 敏 夫
		執行役員	岡 部 敬 三
		執行役員	加 藤 義 則
常務執行役員	琴 寄 正 彦		
常務執行役員	杉 山 泰 之		
常務執行役員	赤 松 敦		

株式の状況

(2024年3月31日現在)

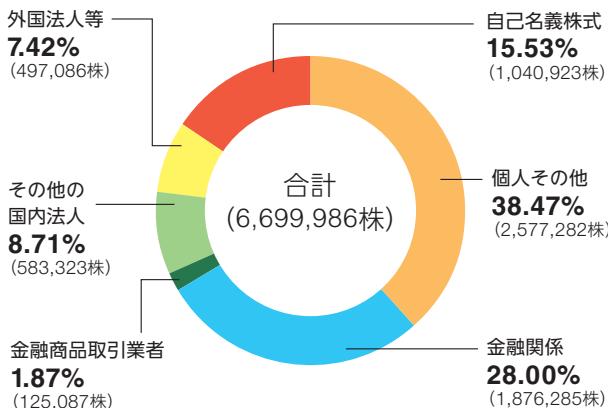
発行可能株式総数..... 26,600,000株
 発行済株式の総数..... 6,699,986株
 株主数..... 4,178名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
オリジン取引先持株会	472	8.35
損害保険ジャパン株式会社	376	6.64
明治安田生命保険相互会社	302	5.35
株式会社みずほ銀行	281	4.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	222	3.93
株式会社りそな銀行	156	2.76
トーア再保険株式会社	121	2.14
オリジン従業員持株会	118	2.10
島根 良明	113	2.00
EUROPEAN DEPOSITORY BANK SA - DUBLIN - BUTTERMERE DEEP VALUE FUND LIMITED	110	1.96

(注) 1.当社は自己株式1,040,923株を保有していますが、上記大株主から除いています。
 2.持株比率は自己株式を控除して計算しています。

所有者別分布状況(株式数別)



第123期 定時株主総会決議ご通知

2024年6月27日開催の第123期定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

- 1 報告事項**
 - (1) 第123期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
 本件は、上記事業報告、連結計算書類の内容およびその監査結果を報告いたしました。
 - (2) 第123期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)計算書類報告の件
 本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。
- 2 決議事項**
 - 第1号議案 剰余金の処分の件**
 本件は、原案のとおり承認可決されました。(期末配当金は、1株につき15円)
 - 第2号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)5名選任の件**
 本件は、原案のとおり承認可決され、妹尾一宏氏、稲葉英樹氏、佐藤好生氏、内藤佳彦氏、小池達子氏の5名が再任され、それぞれ就任いたしました。
 - 第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件**
 本件は、原案のとおり承認可決され、宮内公平氏、千代延郁男氏の2名が再任、平澤久氏が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。
 - 第4号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件**
 本件は、原案のとおり承認可決され、辻健吾氏が選任されました。

以上

期末配当金のお支払いについて

- 第123期の期末配当金(1株につき15円)は2024年6月28日からお支払いいたしますので、同封の「配当金領収証」により最寄りのゆうちょ銀行または郵便局において、払渡期間内にお受け取り下さいますようお願い申し上げます。
- 銀行またはゆうちょ銀行の預貯金口座振込をご指定の方には、「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」をご送付いたしますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

証券コード 6513
 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 3月31日
 公告方法 電子公告にて行います。
 公告掲載URL

<https://www.origin.co.jp/financial/koukoku/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 みずほ信託銀行株式会社

株式に関する手続きのご案内

Stock Information

■ 単元 (100株) 未満株式 買取・買増制度のご案内

買取請求

100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却できる制度です。

例：60株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。

当社に市場価格で
売却

60株

-

60株

=



現金化

買増請求

100株 (単元株式) に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、単元株式にすることができる制度です。

例：60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。

40株を、
当社から市場価格で
購入

60株

+

40株

=

40株

60株

100株
(単元株式)

■ 特別口座から証券口座への振替手続きのご案内

特別口座に記録されている株式は、売買や譲渡等のお取引を行うことができません。特別口座に記録された株式の取引を行うためには、証券会社に取引口座を開設していただいたうえで、特別口座から証券口座に振替を行っていただく必要があります。

ご所有株式に関するお手続きについてのお問合せ先

「証券会社等の口座」で管理されている当社株式に関する
マイナンバーのお届出、配当金振込指定、
単元未満株式買取・買増請求、住所変更等

- 株式等の税務関係のお手続きに関しましては、マイナンバーのお届出が必要です。
- お届出が済んでいない株主さまは、お問合せ先へマイナンバーのお届出をお願いします。



お取引口座を開設されている
証券会社

「特別口座」で管理されている当社株式に関する
配当金振込指定、単元未満株式買取・買増請求、住所変更等



みずほ信託銀行証券代行部

〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4



未受領の配当金に関するお手続き

0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)